

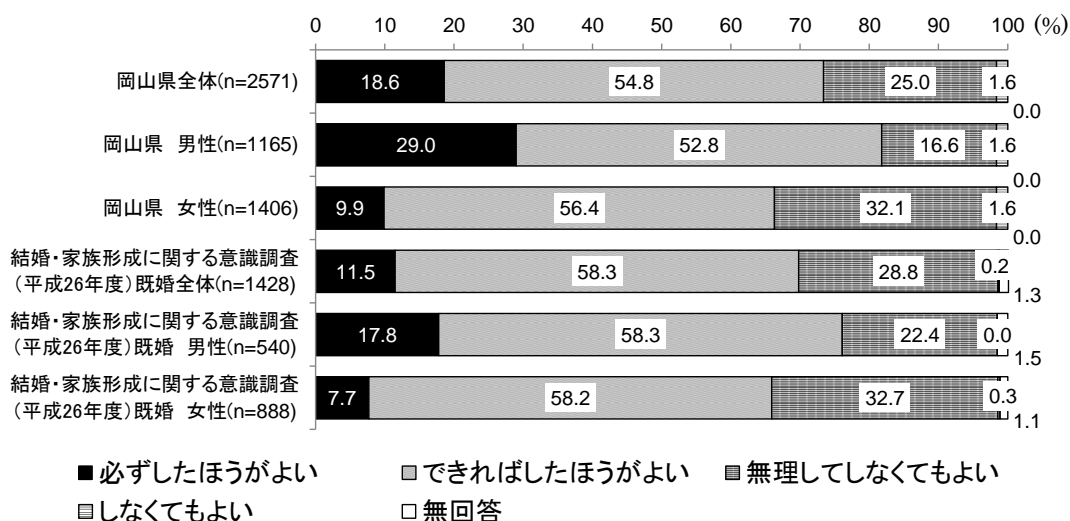
岡山県子育て家庭環境調査結果の概要

1 家族についての意識

■結婚観

男性の方が結婚に関する肯定的な意識が高い。

「必ずしたほうがよい」「できればしたほうがよい」が73.4%と、全国調査と比しても高い割合を示している。特に男性にその傾向が強い。

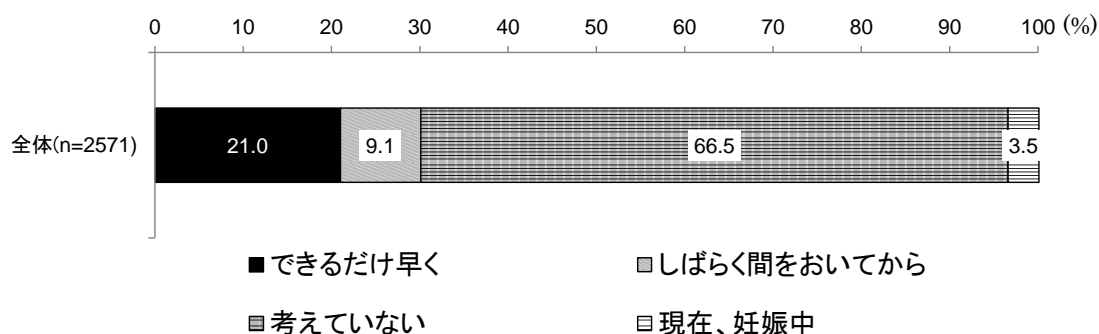


2 家庭における出産や子育てについての意識

■子どもを持つ希望の時期

子どもを持つ時期については、「考えていない」が6割以上を占める。

子どもを持つ時期については、「考えていない」が66.5%と最も高く、次いで「できるだけ早く」(21.0%)、「しばらく間をおいてから」(9.1%)となっている。



■理想子ども数を持たない理由

予定子ども数が理想子ども数を下回る理由、「お金がかかりすぎる」が最多。

予定子ども数が理想子ども数を下回る理由として最も多いのは、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」である。

年齢が30歳未満では、「家が狭いから」「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」と回答した割合が高い。

35歳以上では、「高齢で生むのはいやだから」「欲しいけれどもできないから」「健康上の理由から」という年齢・身体的理由を回答する割合が高い。

(複数回答)

妻の年齢	(集計客体数)	経済的理由			年齢・身体的理由			育児負担	夫に関する理由			その他		その他	あてはまるものはない
		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家が狭いから	高齢で生むのはいやだから	欲しいけれどもできないから	健康上の理由から		これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	夫の家事・育児への協力が得られないから	一番末の子が夫の定年退職までに成人してほしいから	夫が望まないから	ではないから		
全体	(n=643)	48.2%	17.7%	8.9%	30.9%	18.4%	14.3%	22.2%	13.7%	8.1%	7.3%	7.8%	7.8%	4.0%	19.9%
30歳未満	(n=46)	54.3%	23.9%	17.4%	2.2%	10.9%	6.5%	21.7%	10.9%	4.3%	10.9%	15.2%	13.0%	4.3%	26.1%
30~34歳	(n=109)	59.6%	15.6%	5.5%	17.4%	17.4%	7.3%	22.9%	13.8%	5.5%	9.2%	7.3%	7.3%	1.8%	22.9%
35~39歳	(n=173)	61.3%	31.2%	13.9%	36.4%	20.8%	12.1%	24.3%	20.2%	10.4%	10.4%	8.1%	10.4%	5.8%	13.3%
40~49歳	(n=315)	36.2%	10.2%	6.0%	36.8%	18.4%	19.0%	21.0%	10.5%	8.3%	4.4%	6.7%	5.7%	3.8%	21.6%

※対象は予定子ども数が理想子ども数を下回る者。回答者が男性の場合、妻の年齢が不明なため、対象を女性に限定した。

理想3人以上予定2人以上では、経済的理由を回答した割合が高い。また、理想2人以上予定1人では、年齢・身体的理由を回答した割合が高い。

理想が1人以上の予定0人では、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」「あてはまるものはない」と回答した割合が高く、全国調査と比べると、経済的理由を回答した割合が高い。

(複数回答)

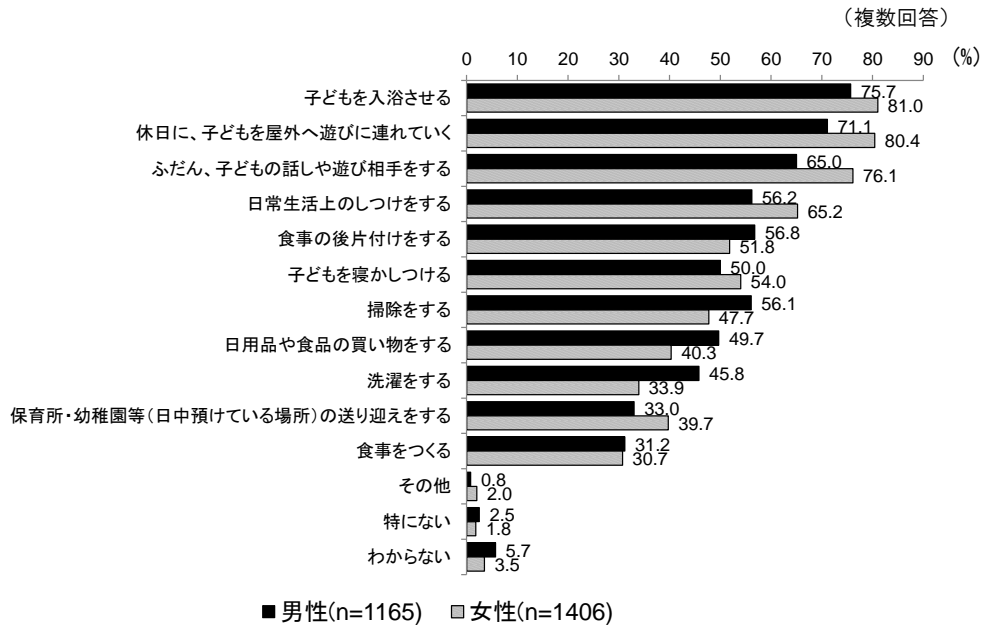
予定子ども数が理想子ども数を下回る組み合わせ	(集計客体数)	経済的理由			年齢・身体的理由			育児負担	夫(妻)に関する理由			その他		その他	あてはまるものはない
		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家が狭いから	高齢で生むのはいやだから	欲しいけれどもできないから	健康上の理由から		これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	夫(妻)の家事・育児への協力が得られないから	一番末の子が夫(妻)の定年退職までに成人してほしいから	夫(妻)が望まないから	はないから		
岡山県															
全体	(n=1204)	48.8%	15.0%	8.8%	28.2%	15.4%	12.5%	17.6%	8.6%	8.0%	9.6%	7.2%	6.2%	3.5%	21.6%
理想1人以上予定0人	(n=493)	40.8%	13.0%	8.1%	28.4%	16.6%	13.8%	16.8%	7.9%	8.9%	6.7%	7.1%	8.7%	3.9%	27.2%
理想2人以上予定1人	(n=351)	47.6%	15.1%	8.5%	31.1%	18.8%	15.7%	16.0%	10.0%	6.3%	10.0%	7.7%	4.3%	3.7%	19.7%
理想3人以上予定2人以上	(n=360)	60.8%	17.8%	10.0%	25.0%	10.3%	7.5%	20.3%	8.1%	8.3%	13.1%	6.9%	4.7%	2.8%	15.8%
第14回出生動向基本調査															
全体	(n=1835)	60.4%	16.8%	13.2%	35.1%	19.3%	18.6%	17.4%	10.9%	8.3%	7.4%	7.2%	5.6%		
理想1人以上予定0人	(n=83)	18.1%	7.2%	1.2%	41.0%	60.2%	26.5%	1.2%	3.6%	6.0%	4.8%	7.2%	9.6%		
理想2人以上予定1人	(n=561)	44.0%	14.1%	0.2%	36.7%	33.3%	23.2%	13.9%	10.9%	5.5%	8.4%	5.9%	4.8%		
理想3人以上予定2人以上	(n=1191)	71.1%	18.7%	17.1%	34.0%	9.8%	16.0%	20.2%	11.4%	9.7%	7.1%	7.9%	5.7%		

※対象は予定子ども数が理想子ども数を下回る者

■育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと

男性は家事従事に関する役割意識が高く、女性は育児従事に関する役割を期待。

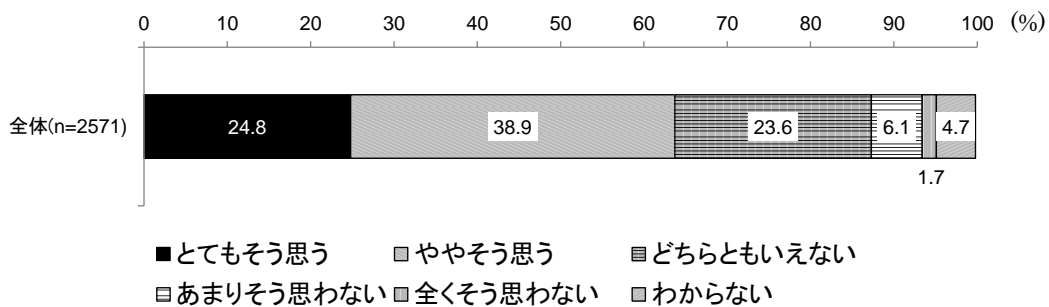
子どもが小学校に入学するまでの間、育児や家事の中で夫も行った方がよいと思うことでは、男性では、女性と比べて、「食事の後片付けをする」「掃除をする」「日用品や食品の買い物をする」「洗濯をする」と回答した割合が高く、「子どもを入浴させる」「休日に、子どもを屋外へ遊びに連れていく」「ふだん、子どもの話しや遊び相手をする」「日常生活上のしつけをする」「保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする」と回答した割合が低い。



■祖父母の育児や家事の手助け

祖父母の手助けが望ましいと思う者が6割以上を占める。

子どもが小学校に入学するまでの間、子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思うかについて、「ややそう思う」が38.9%と最も高く、次いで「とてもそう思う」(24.8%)、「どちらともいえない」(23.6%)となっている。

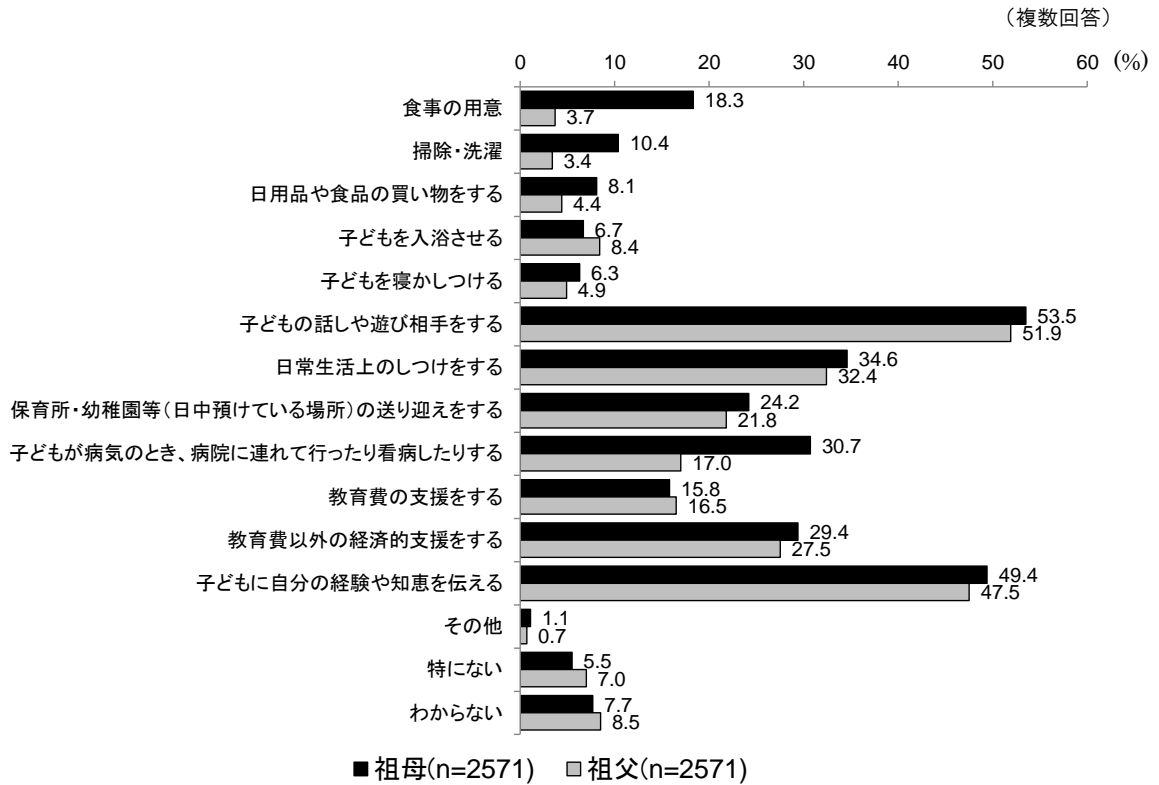


【祖父母に期待する手助け】

祖父母には家事よりも育児への手助けを希望。

祖母では、「子どもの話しや遊び相手をする」が53.5%と最も高く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」(49.4%)、「日常生活上のしつけをする」(34.6%)となっている。

祖父では、「子どもの話しや遊び相手をする」が51.9%と最も高く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」(47.5%)、「日常生活上のしつけをする」(32.4%)となっている。

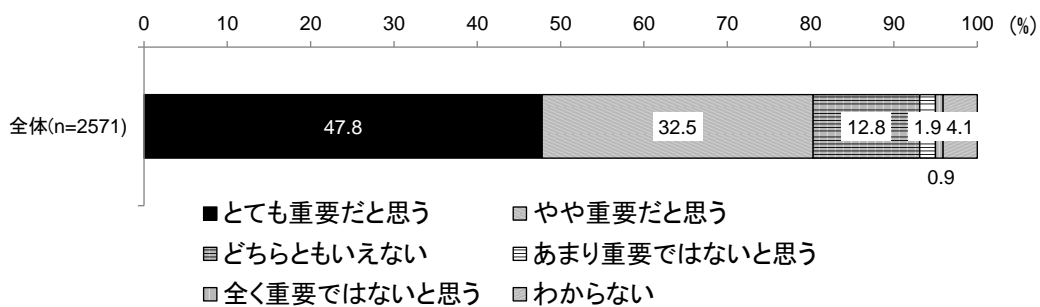


3 地域での子育て支援環境づくりについての意識

■子育てをする人にとっての地域の支えの重要性

地域の支えが重要だと思う者が8割以上を占める。

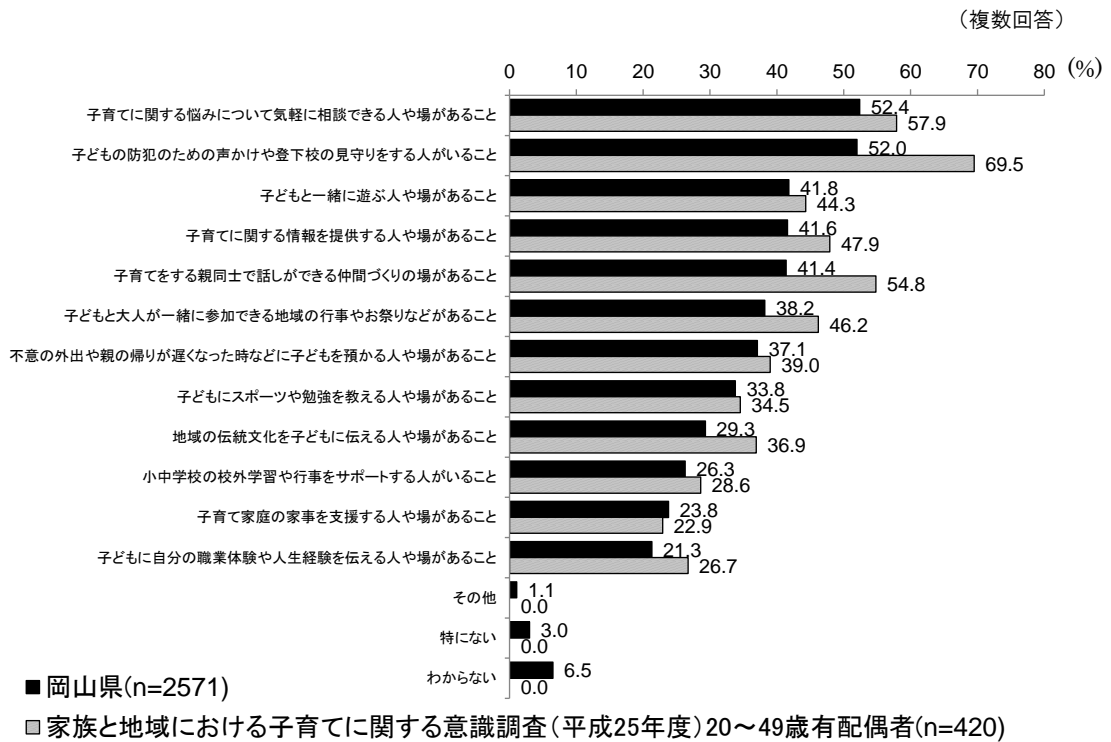
「とても重要だと思う」が47.8%と最も高く、次いで「やや重要だと思う」(32.5%)、「どちらともいえない」(12.8%)となっている。



【地域で子育てを支えるために重要なこと】

地域で子育てを支えるために重要だと思うことは、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が52.4%と最も高く、次いで「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(52.0%)、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」(41.8%)となっている。

全国調査と比べて、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」では10ポイント以上低い。

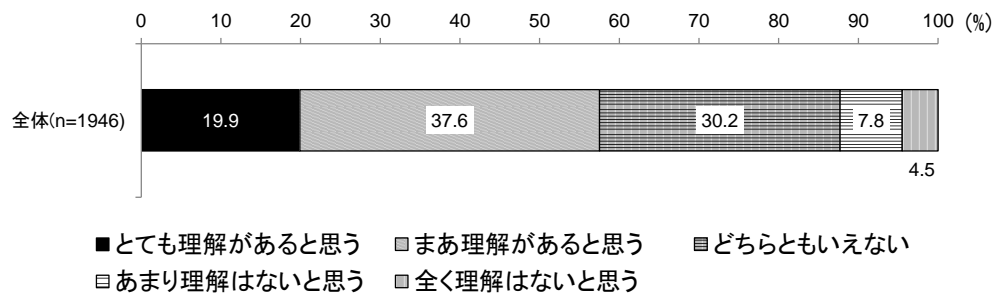


4 多子世帯に関する意識

■会社・職場の上司の子育てについての理解の度合い

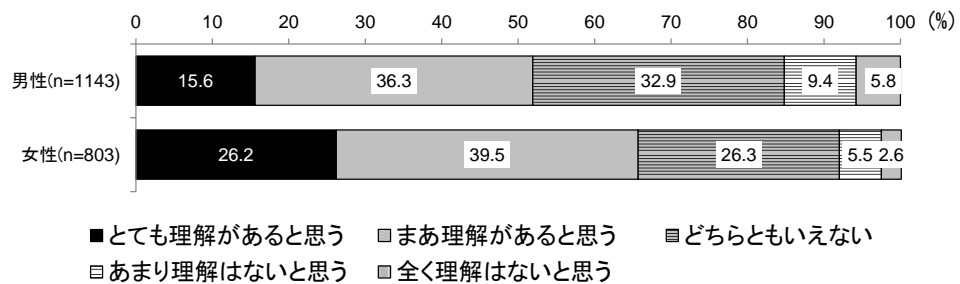
会社・職場の上司は子育てに理解があると思う割合は男性の方が低い。

会社・職場の上司は子育てに理解がある方かについて、「まあ理解があると思う」が37.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(30.2%)、「とても理解があると思う」(19.9%)となっている。



【性別】

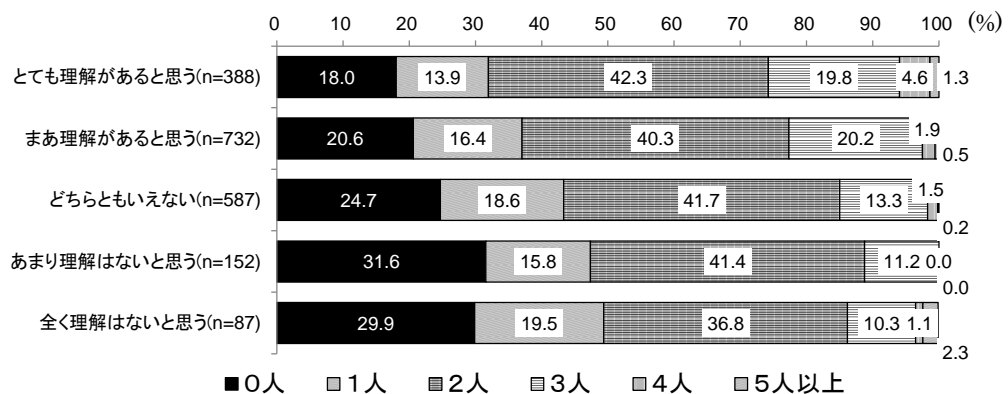
男性では、女性と比べて、「どちらともいえない」と回答した割合が高く、「とても理解があると思う」と回答した割合が低い。



会社・職場の上司が子育てに理解があるほど予定子ども数が多い。

とても理解があると思う、まあ理解があると思うでは「3人」、あまり理解はないと思う、全く理解はないと思うでは「0人」と回答した割合が高い。

【理解度別の予定子ども数】

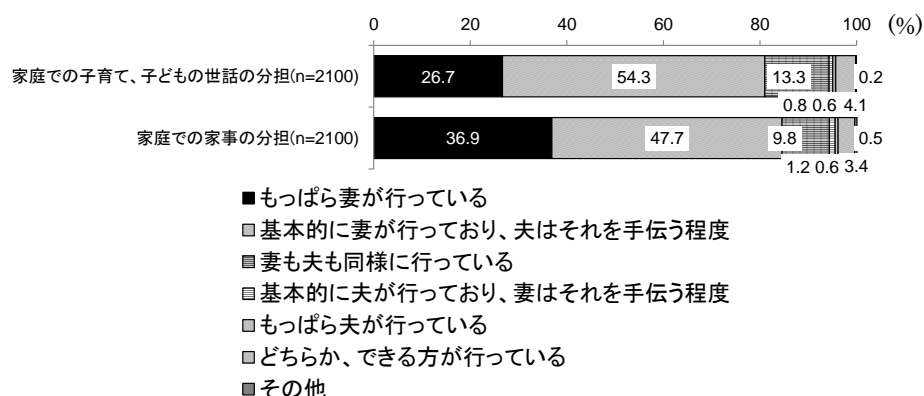


■家庭での育児・家事の役割

家庭での育児・家事ともに主として妻が担当。

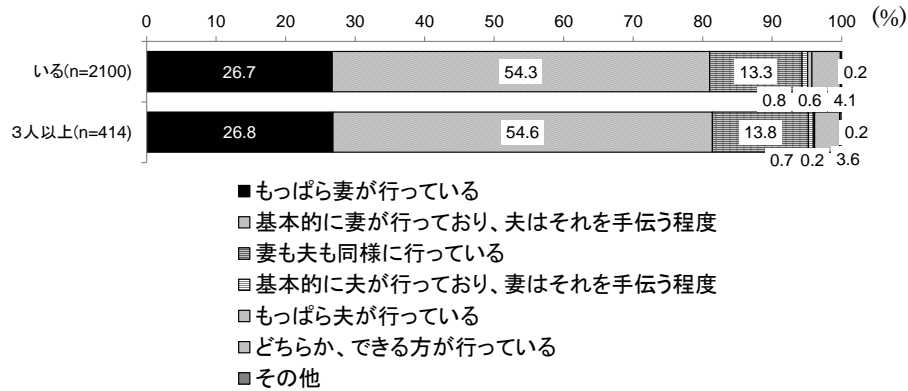
子どもの世話の分担について、「基本的に妻が行っており、夫はそれを手伝う程度」が54.3%と最も高く、次いで「もっぱら妻が行っている」(26.7%)、「妻も夫も同様に行っている」(13.3%)となっている。

家庭での家事の分担について、「基本的に妻が行っており、夫はそれを手伝う程度」が47.7%と最も高く、次いで「もっぱら妻が行っている」(36.9%)、「妻も夫も同様に行っている」(9.8%)となっている。



【子ども数別】

子どもの世話の分担について、子どもがいる又は3人以上では、あまり違いはみられない。

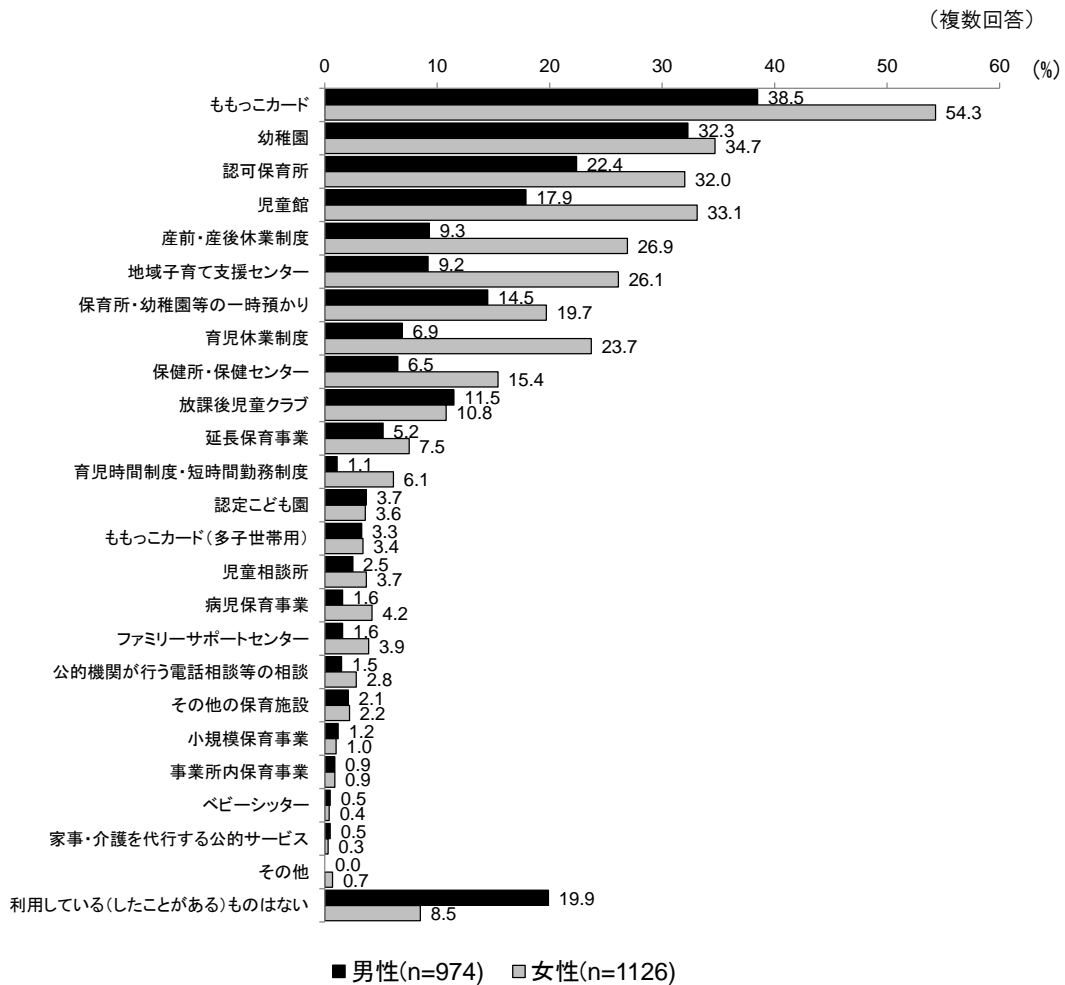


■子育て支援制度や施設等の利用状況

県独自の子育て支援施策「ももっこカード」の利用割合が高いが、全体的に男性の利用割合は低い。

男性、女性ともに「ももっこカード」が最も高い。

男性では、女性と比べて、「利用している（したことがある）ものはない」と回答した割合が高い。

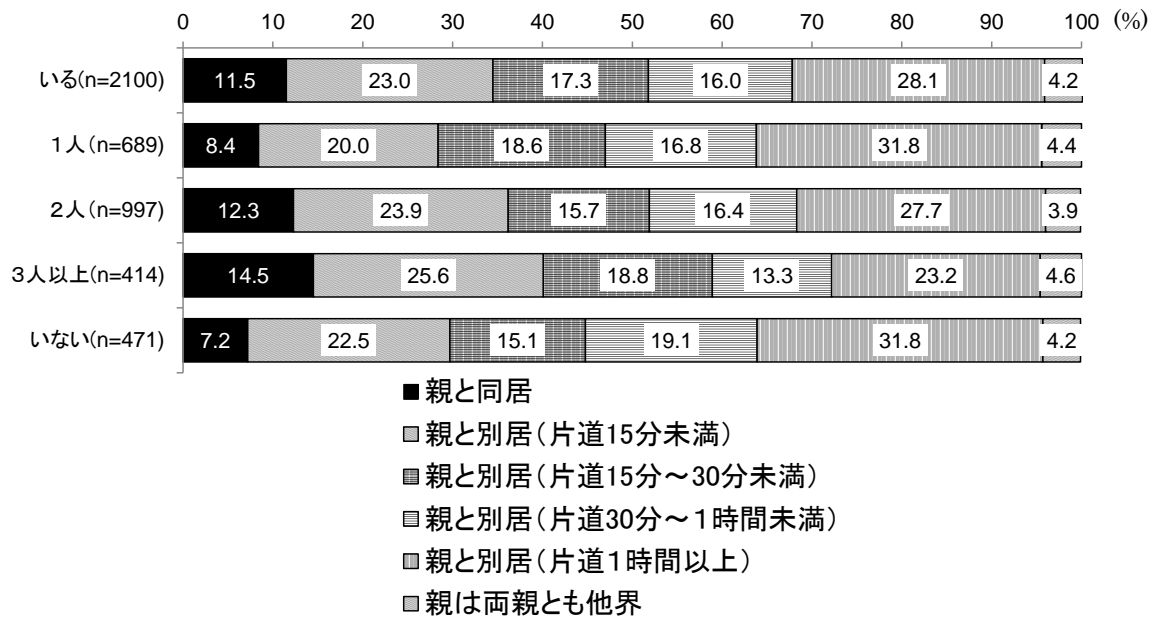


■祖父母の住居との距離別の子ども数

親と近居（親と別居（片道15分未満））では、子ども数が3人以上と回答した割合が高い。

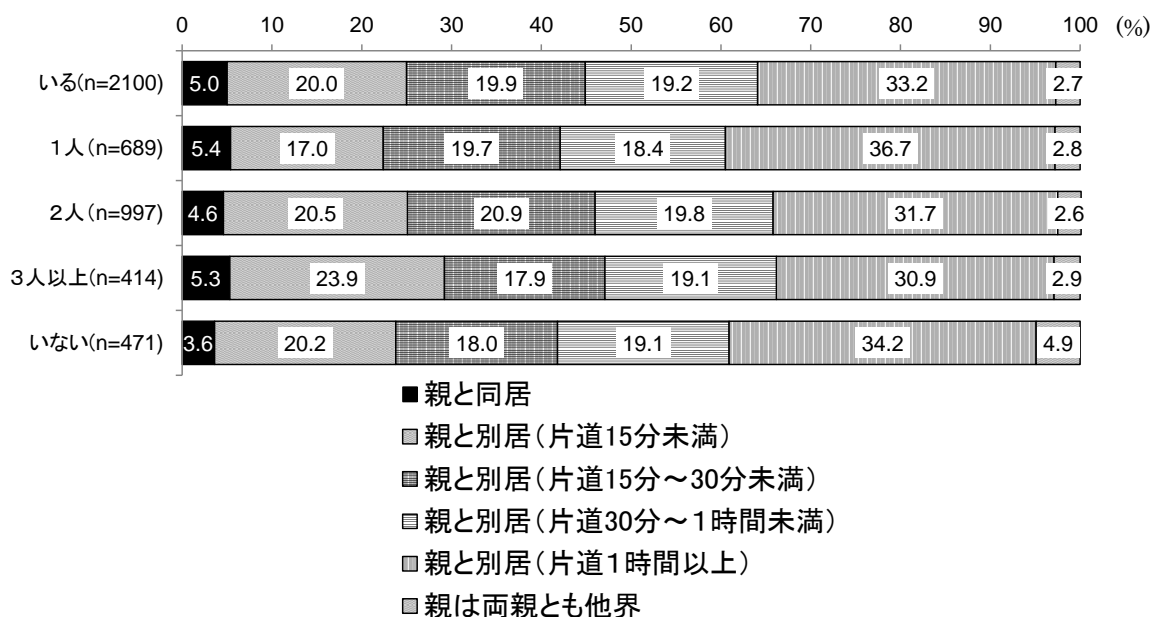
【夫方の親の住まいとの距離別】

子どもが3人以上では、「親と同居」「親と別居（片道15分未満）」と回答した割合が高い。また、子ども数が増えるにつれて、「親と同居」「親と別居（片道15分未満）」と回答した割合が高く、「親と別居（片道30分～1時間未満）」「親と別居（片道1時間以上）」と回答した割合が低くなる。



【妻方の親の住まいとの距離別】

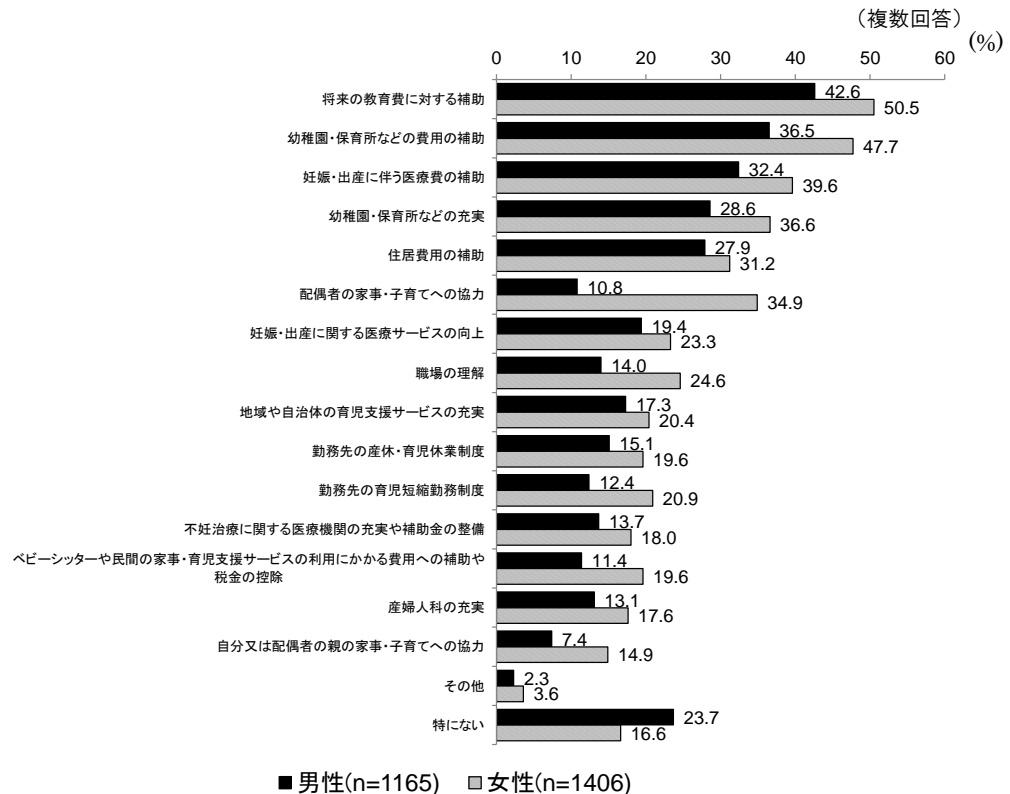
子どもが3人以上では、「親と別居（片道15分未満）」と回答した割合が高い。



■妊娠・出産に積極的になる要素

「将来の教育費に対する補助」が最も高い。また、女性は、「配偶者の家事・子育てへの協力」を上位に挙げている。

女性では、男性と比べて、「将来の教育費に対する補助」「幼稚園・保育所などの費用の補助」「妊娠・出産に伴う医療費の補助」「幼稚園・保育所などの充実」「配偶者の家事・子育てへの協力」「職場の理解」「勤務先の育児短縮勤務制度」「ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除」「自分又は配偶者の親の家事・子育てへの協力」と回答した割合が高い。特に、「配偶者の家事・子育てへの協力」では、20ポイント以上高くなっている。

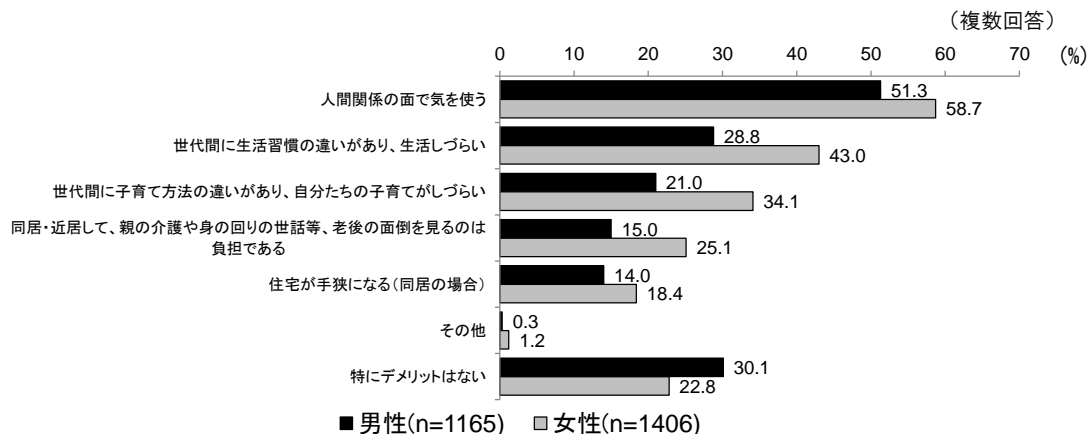


5 三世同居・近居に関する意識

■三世同居又は近居のデメリット

「人間関係の面で気をを使う」が最も高い。また、女性は、「生活習慣や子育て観の違いをデメリットと感じる傾向がある」。

女性では、男性と比べて、「人間関係の面で気をを使う」「世代間に生活習慣の違いがあり、生活しづらい」「世代間に子育て方法の違いがあり、自分たちの子育てがしづらい」「同居・近居して、親の介護や身の回りの世話等、老後の面倒を見るのは負担である」と回答した割合が高い。



【親との居住距離別】

親と同居（親と別居（片道 15 分未満））では、「特にデメリットはない」と回答した割合が高い。

夫方の親の住まいとの距離では、親と別居（片道 15 分未満）で「特にデメリットはない」と回答した割合が高い。

（複数回答）

夫方の親との居住距離	（集計客体数）	人間関係の面で気を使う	り世、代間に生活しづらいい	づあり、代間に子育て方法の違がい	倒身の回りの世話等、親の介護や	同居・近居して、親の介護や	合住宅が手狭になる（同居の場合）	その他	特にデメリットはない
親と同居	(n=275)	64.4%	46.5%	33.1%	24.0%	15.3%	1.5%	13.5%	
親と別居(片道15分未満)	(n=588)	44.0%	23.8%	18.9%	17.9%	4.4%	0.7%	39.8%	
親と別居(片道15分～30分未満)	(n=434)	57.6%	36.4%	26.3%	18.7%	16.6%	0.2%	22.6%	
親と別居(片道30分～1時間未満)	(n=425)	60.2%	41.2%	33.4%	24.9%	21.2%	0.9%	23.1%	
親と別居(片道1時間以上)	(n=741)	59.9%	41.6%	32.8%	20.8%	22.9%	0.8%	22.3%	
親は両親とも他界	(n=108)	35.2%	29.6%	21.3%	14.8%	20.4%	0.9%	37.0%	

妻方の親の住まいとの距離では、親と別居（片道 15 分未満）で「世代間に子育て方法の違いがあり、自分たちの子育てがしづらい」「住宅が手狭になる（同居の場合）」と回答した割合が低く、「特にデメリットはない」と回答した割合が高い。また、親と別居（片道 1 時間以上）では、「人間関係の面で気を使う」「世代間に生活習慣の違いがあり、生活しづらい」と回答した割合が高い。

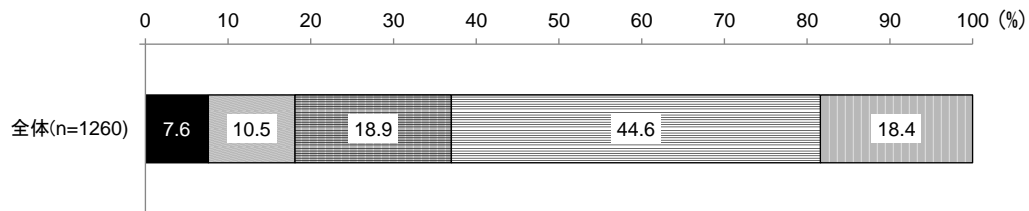
（複数回答）

妻方との親との居住距離	（集計客体数）	人間関係の面で気を使う	り世、代間に生活しづらいい	づあり、代間に子育て方法の違がい	倒身の回りの世話等、親の介護や	同居・近居して、親の介護や	合住宅が手狭になる（同居の場合）	その他	特にデメリットはない
親と同居	(n=122)	54.9%	36.9%	27.0%	16.4%	16.4%	1.6%	23.0%	
親と別居(片道15分未満)	(n=515)	40.4%	23.3%	17.3%	14.2%	7.6%	0.8%	41.0%	
親と別居(片道15分～30分未満)	(n=503)	55.3%	36.2%	26.4%	20.1%	14.9%	0.2%	26.0%	
親と別居(片道30分～1時間未満)	(n=493)	59.4%	38.3%	31.6%	21.9%	18.3%	1.0%	20.9%	
親と別居(片道1時間以上)	(n=858)	62.6%	44.1%	34.6%	24.2%	21.1%	0.7%	20.6%	
親は両親とも他界	(n=80)	51.3%	33.8%	20.0%	22.5%	21.3%	2.5%	27.5%	

■三世同居又は近居していない人の理想の家族の住まい方

6割以上が近居を理想とする傾向がある。

「同居が好ましいとは思わないが、近居（妻方の親）は好ましいと思う」が44.6%と最も高く、次いで「同居が好ましいとは思わないが、近居（夫方の親）は好ましいと思う」（18.9%）、「同居も近居も好ましいとは思わない」（18.4%）となっている。



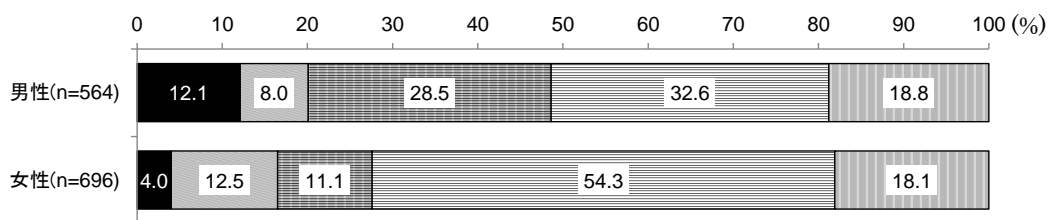
- 同居(夫方の親)が好ましいと思う
- 同居(妻方の親)が好ましいと思う
- 同居が好ましいとは思わないが、近居(夫方の親)は好ましいと思う
- 同居が好ましいとは思わないが、近居(妻方の親)は好ましいと思う
- 同居も近居も好ましいとは思わない

【性別】

女性の5割超が、「同居が好ましいとは思わないが、近居（妻方の親）は好ましいと思う」と回答

男性では、女性と比べて、「同居（夫方の親）が好ましいと思う」「同居が好ましいとは思わないが、近居（夫方の親）は好ましいと思う」と回答した割合が高い。

女性では、「同居が好ましいとは思わないが、近居（妻方の親）は好ましいと思う」が5割を超えている。



- 同居(夫方の親)が好ましいと思う
- 同居(妻方の親)が好ましいと思う
- 同居が好ましいとは思わないが、近居(夫方の親)は好ましいと思う
- 同居が好ましいとは思わないが、近居(妻方の親)は好ましいと思う
- 同居も近居も好ましいとは思わない